工事用仮排水（工事用排水）申請時の添付書類

釜場排水の場合

①位置図：申請場所の位置図（住宅地図等）。

②掘削平面図：掘削部分、釜場、沈砂槽、接続桝（公共桝）の各位置関係等が確認でき、排水ポンプから沈砂槽を経て、公共下水道に至るまでの経路を明示する。

③掘削断面図：GL、掘削底面、釜場、沈砂槽の高さ関係を明示する。

④釜場詳細図：釜場の構造、ポンプの設置状態を明示する。

⑤ポンプ資料：使用ポンプの型式カタログ、ポンプの性能曲線図（揚程から吐出量を算出できるもの）、予定排水量。

⑥沈砂槽構造図：出口は三角堰（又は四角堰等）の構造とし、各部分の寸法を明示する。（有効容量の算出）なお、排水の水質がSS（浮遊物質）600 mg/L以下の基準を遵守できるようにすること。また、沈砂槽の容量は流入槽から三角堰手前までとし、0.2 mm砂粒子の除去率 50 %以上となる構造とすること。
（目安として、ポンプ揚程をポンプ吸込み口から沈砂槽流入口までの高低差とし、ポンプ性能曲線から得られる吐出量を 2分間以上滞留できる容量とすること。）

⑦土質柱状図：掘削底面、地下水位を明示する。

⑧排水工程表：全体の工程の中に排水予定期間を明示する。

⑨その他：その他状況に応じて指示する資料。

ディープウェル排水の場合

①位置図：申請場所の位置図（住宅地図等）。

②掘削平面図：掘削部分、ディープウェル、沈砂槽、接続桝（公共桝）の各位置関係等が確認でき、各井戸から沈砂槽を経て、公共下水道に至るまでの経路を明示する。

③掘削断面図：GL、ポンプ、掘削底面、釜場、沈砂槽の高さ関係を明示する。

④ウェル詳細図：構造、ポンプの設置状態を明示する。

⑤ポンプ資料：使用ポンプの型式カタログ、ポンプの性能曲線図（揚程から吐出量を算出できるもの）、予定排水量。

⑥沈砂槽構造図：出口は三角堰（又は四角堰等）の構造とし、各部分の寸法を明示する。（有効容量の算出）なお、排水の水質がSS（浮遊物質）600 mg/L以下の基準を遵守できるようにすること。また、沈砂槽の容量は流入槽から三角堰手前までとし、0.2 mm砂粒子の除去率 50 %以上となる構造とすること。
（目安として、ポンプ揚程をポンプ吸込み口から沈砂槽流入口までの高低差とし、ポンプ性能曲線から得られる吐出量を 2分間以上滞留できる容量とすること。）

⑦土質柱状図：ウェル（掘削）底面、地下水位を明示する。

⑧排水工程表：全体の工程の中に排水予定期間を明示する。

⑨その他：その他状況に応じて指示する資料。

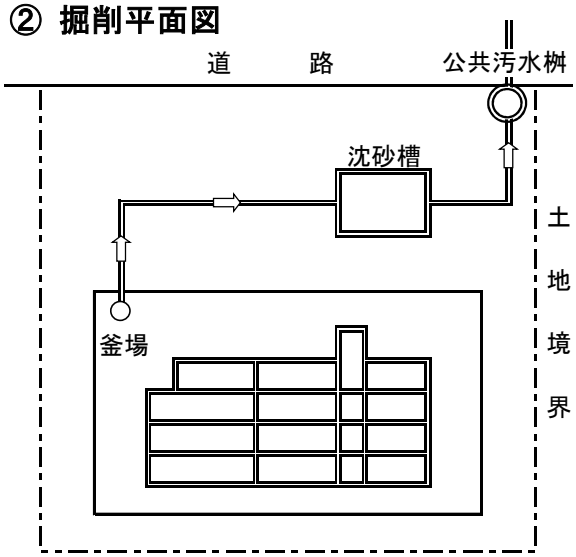
（担当課）札幌市下水道河川局事業推進部 排水指導課排水指導係 Tel 011-818-3422

（裏面参照）

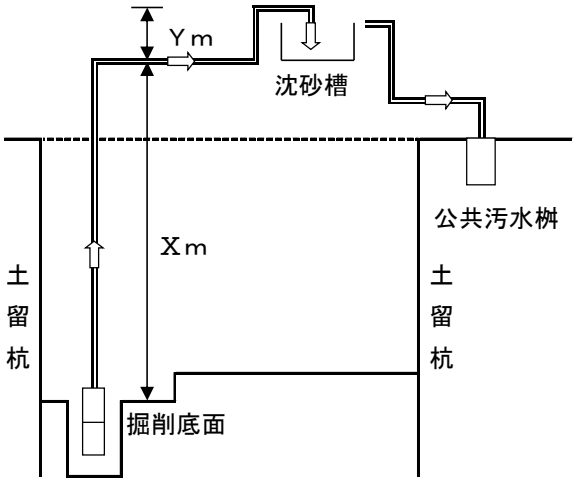
R元.5.1

工事用仮排水（工事用排水）申請時の添付書類図面例

② 掘削平面図

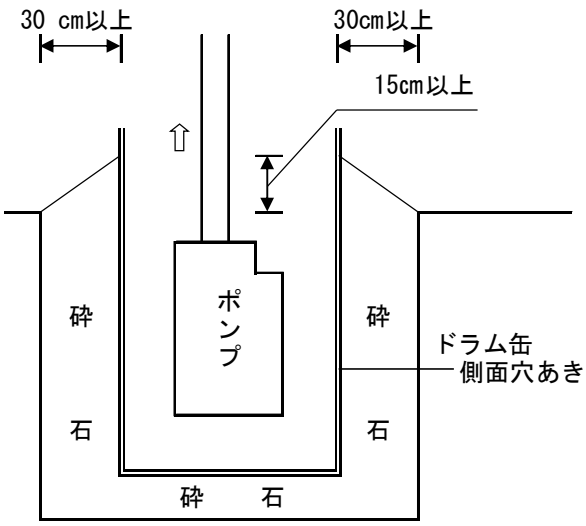


③ 掘削断面図

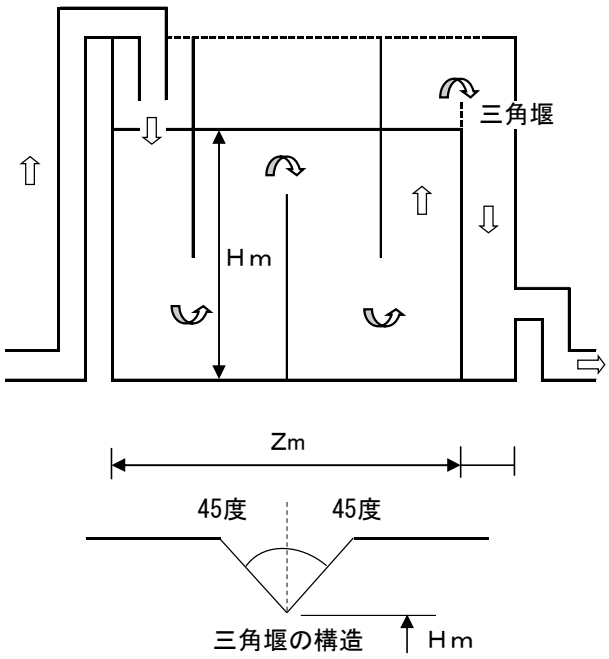


揚程高の計算　Ｘ＋Ｙ＝Ｚ　ｍ

④ 釜場詳細図



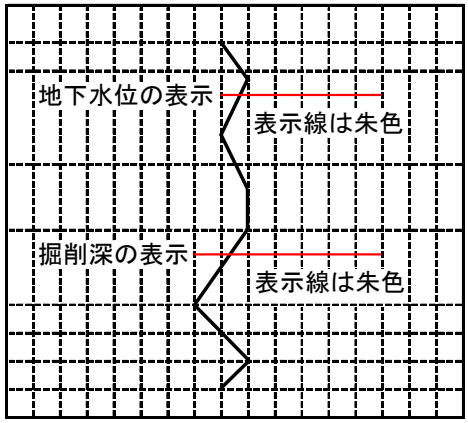
⑥ 沈砂槽構造図



沈砂槽有効容量の計算

Ｚ×Ｈ×幅＝有効容量

⑦ 土質柱状図



⑧ 排水工程表